
恋愛全面戦争

鯖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛全面戦争

【著者名】

ZZマーク

1

鯖

【あらすじ】

恋に興味なかつた男の話・・・女子との恋愛の戦争の話。
恋愛は、戦争だ・・・

・・・・・荒れすじ（前書き）

ハッピーハンドじゃ あないと嫌な人は、見ないでください

・・・・・荒れすじ

・・・・・曇り空だ・・・・・

最近天氣は、俺の気持ちのように流れてる氣がする・・・
なんで、こんなこと考えてんだろ・・・すべて、あいつのせいか・
・・・

こんなこと考へてんの世界の中で俺だけだらうか・・・

恋愛は、戦争だなんて思つてんの・・・俺だけだらうか・・・
いまや、ケータイ小説や、ドラマなんかで恋愛の話なんかがよくあ
る・・・

でも、いつでもあんな美しいきれいな恋愛ができるわけない・・・
あんなん見ていつも見下してる・・・ベタすぎやん・・・

ああ・・・俺だけだらうなこんな男・・・

こんなになつたのも・・・あいつのせいいか・・・

天氣は、かわらず曇り空・・・いや、せつせよより悪くなつたか?
はあ・・・もう一度読者に言つておく、恋愛は、戦争だ・・・
こんなことを考へながら、俺は生きている、生きていく・・・

・・・・・荒れすじ（後書き）

見てくてありがとうございます。この、恋愛の話が
好きな人も嫌いな人もいるかもしませんが、まあ見てください。

開戦（前書き）

前回の続き、第2話。

話は、ちょっと前に戻る・・・2007年9月12日・・・体育祭が終わって文化祭の準備に入ろうとするとき・・・休み時間に教室で机にふせ、寝ていた時。1人の女子が俺に向かって話しかけてきた。

田中絵里・・・突然でびっくりしたが、それは内面でおどろいただけ、外では、「何?」と普通に答えた。

「望つてさ〜メールしてる?あ、パソコンでもケータイでもいいよ

」

・・・メールか・・・そういうえばしてないな・・・

「してない。」

ケータイは、高校受験受からないと買わないと親から言っていた、パソコンは、ハングゲームがやりたかったのでアドレスを一度作ったがもうメールのIDとパスワードを忘れてしまった。

「そりなん、やればいいじゃん まあいいや、じゃあね。」

そういうて田中は、また友達の輪の中に入つていった。

メールか・・・やろうかな・・・。うつぶせになりながら考える。

友達の中でもケータイを使う人が増えてきた・・・

流行に乗り遅れないよう、パソコンを使いメールをやる人が増えた。メールをやつてないのは、俺だけ。というぐらいメール利用者人口が増えてた。

どうしようかな・・・今日あたりにでもyahooメールに登録しようかな・・・

・・・やつておくが、別に存するわけじゃないし・・・

そして、同日、10時yahooメールに登録してアドを作った・・・

しかし、このメールが相手の戦術のはばを広めてしまったなんてこ

の時は、かんがえれるわけがなかつた・・・

開戦（後書き）

つまらないですか？まあ、見てください。

メールからの攻撃1（前書き）

田中軍！攻撃準備！
（

メールからの攻撃1

次の日、俺はいつも学校に向かった、

2007年9月13日・・・・田中とのメルアド交換条約を結ぶ
「おはよーーー！」

教室に入るときなり田中が元気よく言つてきた。

「・・・・おはよ、」

テンションについていけない、朝は苦手ではなかつたが、俺はいつもテンションが高いほうではない。休み時間だつて教室で友達と話すか机にふせて寝るかしかしなかつた。

「げんきないなーーーおはよーーー！」

「・・・・・・・・おはよ、」

「もーつー元気ないぞーーー！」

「いつも、こなんんだ」

そういうつて席につく、あいつ・・・・あんなにしつこかつたつけ？・・・まあ、シカトしつけばいいか・・・

そんなこと考えながら、1時間田をおえた。

「ね～望～メールすれば？簡単だよ？」

「もうやつた、メルアドもできた。」

「えつー！そりなん！なんでもつと早く言つてくれんかつたん」

「いや、別にいわんでいいかなと・・・」

「なんどよーーーもつと早く言つてよ今度からーーー！」

「ああ、まあ。」

うるせー・・・・まじうるせー・・・・こんな人だつたっけかな？

「明日私のアド教えるけーね。」

「ああ、」

しかし、へざいなんて口にできるはずがなく会話は進んでいく。

「どうしたん？やっぱ元気がないねー」

「だから・・・・いつもこなんんだ・・・」

「まあいいや、元気だしーよ。」

「ああ、」

てめーのテンションについていけねーよ・・・と思しながら2時間目をすゞした・・・

何で俺にかまうんだ？俺そんなに好かれる人種じゃあねーぞ？・・・

・
そんな感じで今日一日すゞした・・・

・・・・これ以上あいつの攻撃がふえたらいつなるんだろう・・・
大変な被害になりそうだ・・・望軍は、防御態勢に入った・・・

メールからの攻撃1（後書き）

田中軍が攻撃態勢に入り、望軍が防御態勢に入りました。
年9月13日田中とメルアド交換条約を
結びましたこれから田中軍の攻撃がどうなるやら・・

メールからの攻撃2（前書き）

田中軍、 戦闘準備に入ります！

メールからの攻撃2

田中とメルアドを交換しようと約束した日、俺は男友達のアドを書きにいった・・・

なぜなら田中のメルアドをアドレスブックの先頭に置きたくなかったからだ、

先頭に置いたら必ずだれかが「お前のアド帳なんで田中が先頭なん? もしかして?」

と言つてくると思った。といつよりか田中は先頭に置きたくなかった、

もつと可愛く美女ならば先頭に置いても全然いいのだが、

田中は、正直可愛いし男子からの評判も良くなかった。

俺も嫌いだ、だから先頭に置きたくなかった。

帰るとき大輔にメルアドをきいた、

大輔とは、本名・河村大輔、通商大輔だ。同じ部活、同じ野球部員だ。

小学校はちがつたが中学校で仲良くなつた。野球部のなかでは一番仲がいいかもしない、

中学校で初めて出会つた時かなりに気が合つたからだ、好きな映画、見てる番組、やつててるゲームなどなどいろいろなことで気が合つた。仲良くなつた。

今でも一緒に帰つてゐる。

「は? メルアド? お前ケータイ買つたん? !」

「いや、買つてない、パソコン」

「そ、うなん!俺メルアド覚えとるから今すぐ教えられるぞー!」

「そ、うなん、じゃあこれに」

おれは、メモ帳を渡す。なんかの参加賞で貰つたやつだ。大輔はすばやく、あつという間に書いた。

「はいこれ・・・俺の」

「おお、ありがと」

そんな会話を交わしながら大輔とは、別れた。

次の日、やつが来た・・・田中だ。

「おはよ望ツ

「・・・・おはよ。」

「元気ないぞつ！！」

「・・・・・・・・。」

数秒間の間・・・。

「どうしたん？おこつてんの？」

怒つてた・・・ものすごい怒つてた・・・怒るといつか、機嫌が悪かつた。

昨日からお前はしつこい・・・いやというほど・・・。

本当にムカついてた、しつこい・・・嫌いだ・・・田中が・・・。

「別に・・・いつもこんなんだ。」

「そツカ　じゃあ、これね　はい、アドだよ　」

「パソコンとケータイ両方あるから　じゃあね　」

はつ！・・・・・またやつてしまつた・・・最悪だ。

女子にひどいことが言えない・・・昔から言えなかつた、キャラのせいからいつもこんな感じで・・・ほかの男子は普通女子をからかう、小学生の時からそうだ。中学生になつたらそんな人もいないだろうと思つたがそうではなかつた・・・変わつていなかつた・・・大人になつた中学生が誰一人もいなかつたのだ・・・男子が女子をからかうなんてガキの中のガキ、そんなの人が意外にも大勢いたのだ・・・でも俺は昔からそんなことはしなかつた、なぜだろうか、兄弟が女ばつかりだからか？よくわからない・・・
(しかたない・・・今日のメールで・・・遊ぶか・・・)

メールからの攻撃2（後書き）

望軍、戦闘準備に入ります！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2082d/>

恋愛全面戦争

2010年10月14日22時51分発行